



スタート
直後



残り100m。直線入り口で先頭に
立った⑦タッチデュール(花本騎手)
内で踏ん張る⑩ハイタッチ(青柳)
外を猛追①セイカアレグロ(吉田)



4角

第12回 日本トータ杯
金沢スプリントカップ

7/15 稍 11R 3歳以上重賞 1400m

1	セイカアレグロ	523	57	吉田晃	1292	1	6	6	8	6	37.1
7	タッチデュール	429	55	花本正	1/2	1293	4	7	7	2	38.0
10	ハイタッチ	517	57	青柳正	11/2	1296	5	1	1	1	38.6
9	エーシンハダル	509	57	吉原寛	3/4	1298	6	10	9	6	37.9
6	トウホクヒジシ	440	55	佐藤友	11/2	1300	7	4	4	3	38.7
2	スターボード	511	57	川原正	2	1304	2	2	2	5	38.9
4	ゴールドソレイ	429	52	吉井友	1	1306	8	10	10	10	37.7
5	マルヨスバル	518	57	尾島徹	3/4	1308	3	2	4	4	39.5
11	ポップイン	450	55	湯前良	3/4	1309	11	9	9	10	38.8
3	ケージーアメリカ	462	57	米倉知	クビ	1310	9	5	5	7	39.2
8	ヤマチョウサン	468	57	藤田弘	クビ	1310	10	8	8	10	38.9

ハロン 12.74 前半 38.7 上がり 50.5 38.2 平均ペース

枠連複	①-⑥	1,350 円	枠連単	①-⑥	2,170 円
馬連複	①-⑦	2,100 円	馬連単	①-⑦	3,250 円
3連複	①⑦⑩	6,040 円	3連単	①⑦⑩	16,400 円

1角	10,2,5,6,3,1,7,8,11,9,4	稍出遅れ⑨
2角	10,(2,5),6,3,1,7,8,(9,11)-4	
3角	10,7,6,5,2,9,3,1,11,8,4	
4角	7,10,6,5,9,1,2,3,8,11,4	

地元6連覇の立役者



1着

地元金沢の牙城？ベテラン
9歳の牡馬セイカアレグロ
直線は他馬が止って見えた



人気に応えられなかった②スターボード(園田)
レースぶりからも長距離輸送が堪えたのがモ...

ベテラン花本騎手が操った
笠松タッチデュール 人気薄
も直線先頭！まさに惜敗



2着



3着

しっかりと追い切りをこなして
臨んだ地元5歳馬ハイタッチ
ベストの⑩だけで底力は示した

地元5連覇中で臨んだ12回金沢スプリントC。しかし今年ナムラダイキチやサミットストーンのような怪物はいない。はたして地元・金沢の連勝は続くのか？ 遠征勢は園田②スターボードをはじめ、笠松から大挙6頭(④⑤⑥⑦⑨⑩)が押し寄せた。レースは⑨エーシンハダルが半馬身ほど出遅れたが他の馬は殆ど横一線。大外から地元の⑩ハイタッチが・青柳が先頭へ…。この距離にしては落ちつた流れだった。その流れを察したのが⑦タッチデュールを操る・花本騎手。2角回ると外を追い上げ、3角では先頭の⑩ハイタッチに1馬身、4角で並んで直線入り口では1馬身のリード。そのままゴールへ一直線。鞍上の花本騎手も”勝ち”を意識しただろう。ところが後100mの処で⑦タッチデュール脚色が鈍る。逆に3角で外に出した地元のベテラン①セイカアレグロが外をグイグイ伸びてきた。こうなると追う方に有利。ゴールでは①セイカアレグロが半馬身拔出し、金沢勢の6連覇となった。